



落葉のメタセコイア 粟村幸一（西多摩センター）
フォトコンテスト受賞作品（4頁参照）



No.15 (平成19年)
社会福祉法人 鶴風会
院園
東京 小児 愛育
多摩 育育 支援センタ
後援会
一連先一

東京都武藏村山市学園4-10-1
電話 042(561)2521(代表) FAX 208-0011
東京小児療育病院内
Eメール tcrh@kakufuh.com

理念

和達は
障害児者の生命機能の維持
向上と生活援助のため誠実に
積極的に取り組み障害児者と
その家族を支援します

インフルエンザの（IF）の流行は？

東邦大学名誉教授
(社福)鶴風会後援会長 桑原 章吾

今年の冬は幸いにも新型IFの出現は、なかつたA型IFの毎年の流行はウイルス成分に複雑な変化が起こって、免疫の要素が変化するため、免疫ができないのではない。中国西南部山岳地帯に運ばれた強毒鳥IF・H5N1は鶏の他にブタにも感染し、ブタはヒトのIFウイルスにも感染する。ヒトと鳥のIFブタに同時感染すると、ブタの体内で鳥とヒトIFウイルスの「合いの子」ができ、H5N1がヒトで相互感染する能力を持つ変異を起こす可能性がある。

こうして強毒新型IFができると、ヒトは免疫性が全く無いから多数の患者が発生し、死亡例も増加することになる。各国では予測される大流行をするだけ抑制するため、予備的の対応ワクチンを工夫している。もちろんそれはトリ型H5N1ウイル

スに適切な処理をしてワクチンをつくるのである。

ワクチンの他に、新聞でご承知のノイラミニダーゼ阻害薬はリレンザ(吸入)とタミフル(経口)があるが、これは患者の気管支粘膜細胞からウイルスが遊離できなくなる働きがあり、感染の拡大を抑制する。日本の幼小児はインフルエンザ脳症を起こすことがあるので、特にお子様のある家庭ではかかりつけの先生に症状の早いうち相談して感染を避ける努力を試み、感染した場合は、なるべく早期に適切な処置を探つていただくよう、十分気をつけていただきたい。

註：桑原章吾先生は学校法人東邦大学名誉理事長で鶴風会の後援会長をして下さっています。ご専門は感染症学なので、今回、インフルエンザについてわかり易い解説をしていただきました。（編集部）

1頁	インフルエンザの流行は？
2頁	マニラ巡回・歯ミッキープ受賞
3頁	退職雑感・学生さんからの寄付
4頁	フォトコンテスト受賞・ピアノの音色が…
5頁	平成十九年度行事計画
6頁	ボランティアだより・地域療育等支援事業
7頁	平成十九年度永年勤続者表彰式
8頁	新入職員紹介
9頁	後援会だより
10頁	ご寄付者名簿

マニラ巡回診療に参加して

小児科医師 武智 信幸

二〇〇六年十二月、海外邦人医療基金の事業の一つ、マニラ巡回診療に参加しました。歯科、皮膚科、小児科の総勢五名。土日をはさんだ三日間で、年一度の診療です。他の東南アジア諸国と同様、フィリピンにも多数の日本企業が進出しています。市内の高層ビル二十三階にマニラ日本人会診療所があります。マニラ日本人会が運営し、常勤は数名の日本人看護師と医師（内科医）。マニラ日本人会というものは会員制で、日本人学校の運営も行う、邦人コミュニティーの中心です。

例年、受診者の中には日本人会会員ではない邦人の方もいますが、基本的に門戸を広くして受け入れているそうです。そんな非会員のあるご家族のご相談。母親はアメリカ育ちの日本人、父親はフィリピン人で、生まれたばかりの娘さんに

ついて「将来を思うと娘には豊かな国の日本語を教えたいが、タガログ語は聞かせない方がいいのでしょうか?」という内容。生活は多くの日本人が暮らす居留地ではなく、現地マニラのコミュニティーだそうです。相談者の傍らに不安そうにしている父親が見えます。私は「教えるのは英語とタガログ語にして、日本語は娘さんが成長してからにしてはどうでしょうか。」と率直に述べました。すると父親は「Thank you」と表情

を和らげ、「成長したらきっと変わった人になると思うよ（英語）」と言いながら去って行かれました。見かけは日本人で、言語はタガログ。この場合変わった人というのは父親にとって悪い意味ではないのでしょう。

他の主な相談は「言葉の遅れ」、「お友達関係について」、「落ち着きがない」など、ほとんどが就学前のお子様の一部は自閉症などの発達障害が考えられる内容でした。どのご家族も数年先まで帰国予定なし。就学を控えたあるご家族は、日本人学校（普通級）から入学を断られるのを心配されていました。中には父親も残し、母子だけ帰国を勧められることもあるそうです。自らの子育てが間違っているのではないか、と不安になつている母親がいました。

子どもの特性をどのように受け止めるかは、人それぞれです。以前読んだ本の中に、あるアスペルガー症候群ご本人の言葉で「私は診断を知ったことはつらくない。けれど親がそれを悲しんでいるのを見つらくなつた。」と書かれてありました。子どもはどのような特性を持って生まれても、またどこで誰に育てられても、受け入れられることで成長するのだと思います。終わつてみれば、あつという間のマニラ滞在でした。

歯ミカップ（プレ大会）で努力賞を受賞！

歯科医師 小坂 美樹

平成十九年三月十五日、東京都多摩立川保健所にて開催された、歯ミカップ（プレ大会）に参加し、みどり愛育園西

います。昨年、介護保険制度改革で新設された、予防給付サービスの一つに口腔ケアが導入されました。やつと、口腔ケアの重要性や効果が社会的に認められています。口腔ケアは単にむし歯や歯周病を予防することだけでなく、誤嚥性肺炎の発生を予防することで注目されています。また、インフルエンザなどの感染症も、効果的な口腔ケアを行い、口腔内を清潔に保つことにより、発生を予防したという報告もあります。現在は高齢者における研究が主になっていますが、誤嚥の可能性がある障害児・者においても同じような効果があると考えています。

歯ミカップに参加し、受賞できたことで、病棟スタッフのモチベーションが上がり、今後利用者さんへの口腔ケアが効果的に行われるよう、スタッフとともに努力して行きたいと思います。

この大会に参加し、口腔ケアに対する関心の高さに驚きました。各施設とも、利用者個人に合わせた目標や口腔ケアの方法を示し、取り組んでいました。当院西二病棟でも、療育研究のテーマとし、一年間かけて利用者個人に合わせたブラシングマニュアルを作成し、手作りで吸引ブラシを作るなど、努力をしてまいりました。他施設の様々な取り組みを見て、我々も刺激を受けました。



退職雑感

前通園科長 宮下 一秀

私は、東京小児療育病院訓練科に昭和四十七年に就職した。その当時主体は入所、利用者の入所者数は、東京小児が九十名程度、みどり愛育園が五十名入所していた。

東京小児・年齢の中心は学齢前の幼児と小学部低学年、一部は中学生もいて障がいの程度は、今より軽度。運動機能でいえば装具を使用しているにしろ杖歩行は勿論、独立歩行が出来る子どもが大勢いた。

その子ども達の生活を中心見ていたのは、看護師とその助手でしたが、その当時の人手不足は深刻なもので、特に看護師の夜勤は月に十二～三回。業務の厳しさに大勢辞めた時などは、十五～六回になつた時もあつた。そこで、なにをおいても事故のないように、例えば、出入口の施錠チエック、ベッドの柵チエック。ただ、柵も立ち上がる子どもが大勢いたため、背の高い柵を取り付けた。初めて見た時は、異様な感じを持つた。しかし、子ども達は元気でその柵を越える。

時には保育室のドアを乗り越えて保育室の中をかき回して遊ぶ。保育士も、「また、やられた！」と苦笑していた。そして、子ども達を朝、養護学校へ送り出すのは大変なことで、他のパートの職員も応援にかりだされた。殆どはボラン

ティアだったが。

このような中でも、子ども達のために指導員は色々な行事を企画する。保育士は子ども達をグループ分けして、保育室で保育を行つていた。私は、保育スケジュールなどを見ながら訓練スケジュールを立てる、一単位（一時間程度）に一人の訓練士が四～五名の子どもを運搬車に乗せて訓練室へ連れて来る。そして、平行棒で歩かせる、階段の昇降、台からの立ち上がり、寝返り、四つ這い、などを指示訓練していた。大きな事故はなかつたが、毎日がひやひやものだつた。

しかし、子ども達はたくましい。M・S君は、東京小児から普通小学校へ通い、時々自分の訓練時間に同級生の女の子を数名誘つて、意気揚々と訓練をしていた。やんは、四つ這いから杖歩行、最後には独立歩行も多少出来るようになり、栃木県へ帰つて行つた。Y・O君は、月曜日の朝、いつも母親から離れられず泣いていたが、そのうちに寝返りが出来るようになり、膝立ちも出来るようになつた。母親から「最近、家の冷蔵庫を開けて、なんでも食べて困るんです」と嬉しそうに話す。

だが、看護師同様、訓練スタッフも不足しており。そこで、P.T、OT募集に上司の高野さんと二人で毎年、訓練士養成学校の訪問をしていたこともあつた。創立当時は、どこもここも異常な状態。

た。しかし、仕事が終わった後、「子ども達のため」とみんなに呼びかけて勉強会をしたり、施設長に施設の療育方針を聞かせていただくななど、退職にあたり今

かえりみて、大変な時代をすごしたが、大変なことのすべてが強い印象として残つてゐる。

学生さんからの寄付

平成十九年一月二十日、東邦大学医学部看護学科の四名の学生さんが来院されました。

昨年秋の大森祭の実行委員メンバーとして、バザーの売り上げを寄付して下さいました。

当日は理事長の五島先生が四名の学生さんを病院まで案内してきてくださいました。

昨年も実行委員会の方たちが寄付をお持ち下さつたのですが、ゆっくりお話を伺えませんでしたが、今回は大森祭の様子やバザーでの出来事など、学生さん達からお話を伺うことができました。

（看護部長 秋元美知子 記）

チャリティーコンサートにお越し下さいたお客様を目の当たりにして、こんなにたくさんの方たちに東京小児療育病院は支えられているのだと、感謝の気持ちで一杯になつたのです。

多くの方たちのご厚意を無にしないよう、病院職員は今一層精進し、利用者さんにとって安心して心地よく過ごせる病院にしていかなくてはいけないと、思いを新たにしました。

改めて東京小児はいろいろなところで、たくさんの方たちに支えられているのだなということを強く感じました。

この気持ちは、毎年十二月に開かれる「オルフェの会」の会場で、お客様をお迎えした時に感じたのと同じ気持ちでした。



フォトコンテスト受賞!!

～受賞にあたつて～

栗村 幸一

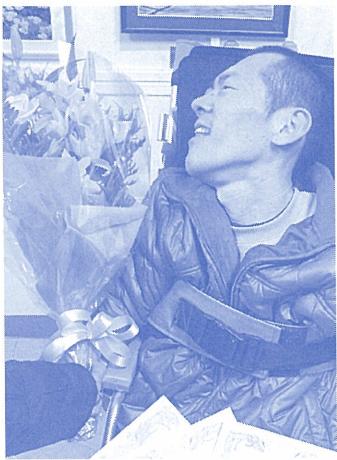
おめでとうございます

もえぎ 中村 光一

ピアノの音色が・・・

西多摩療育支援センター職員

西村 祐子



昨年末に応募した西多摩再発見フォトコンテストに入賞したと手紙が届き、喜んでいました。一月二十三日(火)の夜に、今度は特別賞を受賞しましたと家に電話があり、さらにピックリしました。一月二十四日(水)、仲間と一緒に展示会を見に行きました。会場に着くと、委員の方から「受賞おめでとうございました」と色々な方より声を掛けてもらいました。そして、急遽、読売新聞の取材を受けることになりました。はじめてのことでの緊張してしまいました。

そして、次の日の朝刊に取材した記事が掲載され、心臓が飛び出るくらい驚いてしまいました。仲間や知人、色々な人から、お祝いの言葉やメッセージを頂きました。本当にうれしかったです。ありがとうございます。澤山の人に自分の写真を見てもらいました。沢山の人に自分の写真を見てもらいました。西多摩再発見フォトコンテストに入賞したと手紙が届きました。花束と一緒に届きました。

西多摩再発見フォトコンテストに入選、そして特別賞受賞、人気投票第三位と快挙を達成しました。会場へ行つた際、読売新聞社の取材を受ける事となり、平成十九年一月二十五日の朝刊に掲載されました。粟村さんと共に有名人となりました。粟村さんとともにえぎの名も広げてもらいました。十数年前、みどり愛育園の通所の仲間と始めた写真活動が、家族の温かい支えや、関係スタッフ・ボランティアの方の協力の中、一つ一つの小さな力の積み重ねが実となり、このようなかたちで花開き、改めて「継続は力なり」と実感させられました。写真を通して、様々な方との出会いがあり、自分が表現したものが、色々な方に認められ、また、心動かされ、感動していただけたことは、これから的生活の糧となり、自信につながったこと思います。この応募を機に、新たな自分発見ができたと思います。これからも、その時、その時の自分を表現し皆に伝えていくください。素敵な写真を楽しみにしています。本当におめでとうございます。

西多摩療育支援センター通所もえぎに通う粟村幸一さんが西多摩再発見フォトコンテスト「Nisitama百景」に入選、そして特別賞受賞、人気投票第三位と快挙を達成しました。会場へ行つた際、読売新聞社の取材を受ける事となり、

平成十九年一月二十五日の朝刊に掲載されました。粟村さんと共に有名人となりました。粟村さんとともにえぎの名も広げてもらいました。十

数年前、みどり愛育園の通所の仲間と始

めた写真活動が、家族の温かい支えや、

関係スタッフ・ボランティアの方の協力

の中、一つ一つの小さな力の積み重ねが

実となり、このようなかたちで花開き、

改めて「継続は力なり」と実感させられ

ました。写真を通して、様々な方との出

会いがあり、自分が表現したものが、

色々な方に認められ、また、心動かされ、

感動していただけたことは、こ

れからの生活の糧となり、自信につなが

ったこと思います。この応募を機に、

新たな自分発見ができたと思ひます。こ

れからも、その時、その時の自分を表現

し皆に伝えていくください。素敵な写

真を楽しみにしています。本当におめで

とうございます。

「他の曲を真剣に聞いてくれることはとても嬉しいです。これからも皆さんのが心を癒せるような演奏を心がけたいです。宜しくお願ひ致します。」

「自分の曲を真剣に聞いてくれることに、とても嬉しいです。これからも皆さんのが心を癒せるような演奏を心がけたいです。宜しくお願ひ致します。」

西

多

マ

療

育

支

援

セ

ン

タ

ー

に

音

色

が



心を癒すコンサート

コンサートは身体障害者療護施設「樂」重症心身障害児通所施設「もえぎ」の皆さん。外来の患者さんらが集まつて開かれました。曲はショパンやショーマン

平成19（2007）年度行事計画

東京小児療育病院・みどり愛育園

東京小児療育病院		みどり愛育園			通園	
	東1	西1	東2	西2	幼少部	青年部
4月	1日(日)花見	1日(日)花見	1日(日)花見	1日(日)花見 26日(木)遠足A	5日(木)入園式	5日(木)入園式
5月	13日(日)体験外出1班 15日(火)ピクニック	27日(日)帰り旅行1班	22日(火)バスハイキング 29日(火)バスハイキング	10日(木)遠足B 17日(木)遠足C 24日(木)遠足D	16日(火)合同遠足 (西多摩交流)	18日(金)施設交流会
6月	3日(日)体験外出2班	17日(日)帰り旅行2班	8日(金)バスハイキング 15日(金)バスハイキング		プール 16日(土)20周年式典	プール 16日(土)20周年式典
7月	8日(日)体験外出3班	21日(土)夏祭り 村山養護学校夏祭り	10日(火)バスハイキング		4日(火)七夕・プール 28日(土)家族参観日	プール 村山養護学校夏祭り
8月	3日(火)夏祭り 24日(金)花火大会 プール	7月～9月納涼会 24日(金)花火大会	7日(火)バスハイキング 19日(日)納涼会 24日(金)花火大会	24日(金)花火大会	プール	プール 2日(木)～3日(金)合宿① 23日(木)～24日(金)合宿②
9月	30日(日)みどり祭り	30日(日)みどり祭り	18日(火)バスハイキング 30日(日)みどり祭り	30日(日)みどり祭り	プール	プール① 30日(日)みどり祭り
10月	7日(日)ピクニック 20日(土)幼少運動会		12日(金)バスハイキング 16日(金)バスハイキング	4日(木)遠足E 12日(金)遠足F 16日(火)遠足G 23日(火)遠足H	20日(土)運動会	施設バザー
11月		4日(日)帰り旅行日帰り旅行班	6日(火)バスハイキング		14日(火)七五三	
12月	23日(日)クリスマス会	9日(日)クリスマス会 20日(木)忘年会	16日(日)クリスマス会	16日(日)クリスマス会	8日(土)クラス発表会	13日(木)パーティー
1月	三が日新年を祝う会	17日(土)新年会	6日(日)新年会	13日(日)成人式	19日(土)餅つき 30日(火)豆まき	10日(木)成人を祝う会 10日(木)新年会
2月					27日(火)ひな祭り	28日(木)発表会
3月	2日(日)お楽しみ会	9日(日)お楽しみ会	9日(日)お楽しみ会	2日(日)お楽しみ会	26日(水)卒園・終了式	

西多摩療育支援センター

月	もえぎ		楽	
	行 事 名	日 程	行 事 名	日 程
4月	入園式	4月5日(木)		
	家族参観(幼少)	4月15日(日)		
5月	幼少みどり交流会	5月9日(木)	活動交流会	5月下旬
	青年他施設交流会	5月18日(金)		
6月	運動会(合同)	6月3日(日)	グループ外出	6月から3回
7月	七夕(合同)	7月6日(金)		
	あきる野養護夏祭			
8月	プール	学校と調整	納涼会	7月29日
	キャンプ	8月9～10日(木・金)	活動交流会	8月下旬
10月	おイモ掘り	10月31日(木)		
	センターまつり	10月14日(日)	センターまつり	10月14日
11月	幼少七五三	11月14日(木)	活動交流会	8月下旬
12月	クリスマス会	12月17日(月)	忘年会	12月18日
1月	新年餅つき大会	1月15日(火)	新年を祝う会	1月1～3日
	初詣	1月7日(月)		
	成人を祝う会	1月15日(火)		
2月	青年節分	1月31日(木)	新年会	
	幼少節分	2月1日(金)		
	青年ひな祭	3月3日(木)		
	幼少ひな祭	3月3日(金)		
	卒園旅行	3月5日(日)		
	振り返ろう会	3月13日(木)		
	卒園式	3月28日(木)	花見	4月予定
	コンサート			
	青年部小旅行			



*ボランティア自己紹介

ボランティアだより

和泉明弘さん（四十二歳）立川在住

昨年の十月より毎週月曜日に、東二病

棟にボランティアに来ています。ベラン

ダのガーデニングの掃除、利用者の車椅子

子の整備、清掃、カーテンの架け替え、

日常活動のお手伝い、清拭たたみなど、

幅広く活動をしています。病棟へ来るこ

とがとても楽しく有意義に感じられるよ

うになりましたが、今後はボランティア

講座に参加して利用者さんの入浴の外介

助ができるようにしたいと思っています。

皆さんよろしくお願ひします。

*ボランティア講座開講！

障害児・者へのボランティア活動の推進を目的に、平成十九年度もまた、六月十一月まで月一回（九月のみ二回）全七回シリーズで開講します。内容は、車椅子介助や食事介助の仕方、コミュニケーションのとり方などを学ぶほか、病棟での介助体験や行事参加があります。興味ある方は、是非ご参加下さい。

～ボランティアさん募集～

食事介助・入浴介助・散歩・シーツ交換・行事の手伝いなど常時募集しています！
お問い合わせ：高野（庶務課）・大川（コーディネーター）
電話 042-561-2521（代表）



障害児(者)地域療育等支援事業報告

在宅支援外来療育等指導事業

延べ対象児(者)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
身体障害児 肢体不自由			1			7	8
視覚障害							
聴覚障害							
内部障害							
知的障害児(者)	1				6	7	
重複障害(重心は除く)					1	1	
重症心身障害児(者)							
計	1		1	0	0	14	16

在宅支援訪問療育等指導事業

延べ対象児(者)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
身体障害児 肢体不自由				1	1	2	4
視覚障害							
聴覚障害							
内部障害							
知的障害児(者)				1		1	2
重複障害(重心は除く)							
重症心身障害児(者)	2			1		1	5
計	2	1	2	1	2	4	11

施設支援一般指導事業（延べ件数）

支援先	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
保育園等	4	6	1	3	4	6	24
学校・学童等	1	3	1	2	2	2	11
授産施設				1			2
作業							3
身障センター等							
知的障害施設							
その他							
計	5	9	3	5	6	10	38

延べ従事職員	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
医師							
心理士	1		1				2
理学療法士					11	11	
作業療法士					3	3	
言語聴覚士							
計	1	0	1	0	0	14	16

延べ従事職員	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
医師				1	1		
看護師		2	1				
理学療法士	2	1			2	3	
作業療法士						4	
心理士						1	
計	2	3	2	1	2	8	

延べ従事職員	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
心理	2	5		4	2	1	14
P T		3	2	2		3	10
O T	4	2		4	1	3	14
S T	1	1		1	2	2	7
医師		2	1		2	1	6
計	7	13	3	11	7	10	51

障害児・者本人やその家族・関係施設の職員など当院においていただき、相談・指導・助言を行います。年間計画13件です。

医療保険を使わない外来療育相談ですが、伸び悩んでいます。

第1ないし第3土曜日の午後に設定しています。

障害児・者本人やその家族・関係施設の職員など当院においていただき、相談・指導・助言を行います。年間計画13件です。

医療保険を使わない外来療育相談ですが、伸び悩んでいます。

第1ないし第3土曜日の午後に設定しています。

平成19年度永年勤続者表彰式



四月二十七日に今年度の永年勤続者表彰

式が当院研修室にて行われました。今年度
は二十五名が表彰対象になりました。

当日は五島理事長先生より表彰状と記念会
品が各人に授与され、式の後ささやかな会
食と記念撮影で晴れの日を祝いました。

平成十九年度永年勤続表彰者

勤続二十五年表彰

西横 正行

藤井 寿子

庄司 洋

病棟看護係長 藤井 寿子

ふりかえつて

当施設の利用者さんとのお付き合いを始め
て二十五年を経過した事に、自身が驚いてい
ます。

たまたま施設北側にありました宿舎に住む
ことになり、ご縁ができました。

幼少の方々の生活する病棟で勤務を始めま
したが、日々公園や、院庭にて季節感を楽
しむ機会がたくさんありました。その方達も

一定の年齢になると退院され、家庭や他施設
へと移られていきました。今はどうされてい
るのかな、など思うことがあります。それだ
け障害の程度が軽く、少しの手助けで社会生
活が出来る人達でした。

ふりかえるに、当施設の生活者は加齢と共に
に重症となる方が増え、生活を楽しむ機会が
少なくなったようになります。利用者、家族
が樂しければ私達職員も仕事に潤いと活力が
沸いてきます。日々のかかわりがすべてに反
映していると思います。スタッフと共に前進
できればいいなと考えております。

平成19年度新入職員紹介



歓迎会での院長先生のおことば

四月の二・三日に平成十九年度新入職員オリエンテーションを実施しました。

対象となつた職員は、熱心に講義や実習を受けていました。
二日間のオリエンテーション終了後、通園棟のホールで新入職員歓迎会を行いました。百名を越える職員が出席し、大盛況でした。

東京小児療育病院・みどり愛育園

	採用日	氏名	職種	配 置	採用日	氏名	職種	配 置	
常勤	H19/01/01	石田 隆裕	汽缶手	施設管理	常勤	H19/04/01	田中 えみ	療育員	東 2
常勤	H19/01/09	増田まゆみ	看護師	東 2	常勤	H19/04/01	大団 陽子	療育員	西 2
常勤	H19/01/18	山下 修佑	書記	経理	常勤	H19/04/01	青木 一倫	療育員	西 1
常勤	H19/02/19	齊藤由紀子	准看	西 1	常勤	H19/04/01	黒澤 綾	療育員	西 1
常勤	H19/02/26	上村 裕史	書記	医事	常勤	H19/04/01	渡邊 章	療育員	東 2
常勤	H19/03/15	高橋 美穂	療育員	西 2	臨時	H19/01/22	山本 君江	調理助手	栄養科
常勤	H19/03/16	橋本 君子	准看	西 1	臨時	H19/01/26	大久保智子	書記	庶務科
常勤	H19/04/01	松井 秀司	医師	医局	臨時	H19/04/01	東 康子	衛生士	歯科
常勤	H19/04/01	大野誠一郎	書記	庶務課長	臨時	H19/04/01	田中 真弓	療育員	園園
常勤	H19/04/01	高橋真理子	心理	心理	臨時	H19/04/15	竹内 悅子	療育員	通園
常勤	H19/04/01	白井 映子	看護師	西 2	臨時	H19/04/16	田代 薫	調理助手	栄養科
常勤	H19/04/01	白石 智子	看護師	東 1					
常勤	H19/04/01	桑原由美子	看護師	通園					
常勤	H19/04/01	野中 孝志	療育員	西 1					
常勤	H19/04/01	伊藤 祥子	療育員	西 2	常勤	H19/02/01	増田 利恵	准看	療護
常勤	H19/04/01	親松めぐみ	療育員	東 2	常勤	H19/04/01	藪 美里	療育員	染
常勤	H19/04/01	秀島なつみ	療育員	東 2	臨時	H19/01/11	東川 純子	療育員	療護
常勤	H19/04/01	中村 洋平	療育員	通園	臨時	H19/02/20	鈴木 聖子	准看	療護
常勤	H19/04/01	菊地 優香	療育員	西 2	臨時	H19/03/05	錦織 宏	療育員	療護
常勤	H19/04/01	中井まどか	療育員	東 1	臨時	H19/03/07	入江 藍	療育員	療護
常勤	H19/04/01	田口 恵子	療育員	西 1	臨時	H19/04/03	木村 恵	療育員	染
常勤	H19/04/01	佐藤 美穂	療育員	西 1	臨時	H19/04/01	矢板 秀一	准看	療護
常勤	H19/04/01	橋本つばさ	療育員	西 1	臨時	H19/04/10	市川 裕美	療育員	染
常勤	H19/04/01	堀江由佳理	療育員	西 1					
常勤	H19/04/01	堀口 恒平	療育員	東 1					
常勤	H19/04/01	谷藤 将宗	療育員	西 1					

西多摩療育支援センター

常勤	H19/02/01	増田 利恵	准看	療護
常勤	H19/04/01	藪 美里	療育員	染
常勤	H19/01/11	東川 純子	療育員	療護
常勤	H19/02/20	鈴木 聖子	准看	療護
常勤	H19/03/05	錦織 宏	療育員	療護
常勤	H19/03/07	入江 藍	療育員	療護
常勤	H19/04/03	木村 恵	療育員	染
常勤	H19/04/01	矢板 秀一	准看	療護
常勤	H19/04/10	市川 裕美	療育員	染

一生懸命頑張ります！よろしくお願ひします。

優先席



社会福祉法人 鶴風会

後援会だより

五十嵐千代子(内科医)

JR電車・バスはじめ、いろいろな場所に見られる優先席の表示、「お年寄り、お身体の不自由な方、妊娠中の方、小さいお子様をお連れの方等この席を必要とされている方に席をお譲り下さい。」等と表示してある場所を見かけます。常にこの席に座つておりますと、いろいろなことを見聞きし、又考えさせられます。この様な区別された席は皆が譲り合いの心があれば本来必要ではないのと、イヤイヤせつかくの思いやりの心にそんな水を差すのは間違いかしらとか、でももう私の様に一見して老人とわかるものがこの席をさけて立つていても、どうも間の悪いこともあります。優先席でなくとも混み合う電車の中で立つております時、後ろからツンツンと服のスソを引っ張られ振り向くと見知らぬ方が「どうぞ」と席を譲つて下さることもあります。本当に感謝の意を述べ、座ります。

どなたでも高齢になれば特別のアクションがなくても、個人差はあるにせよ、例外なく老化は進み身体は不自由が増します。せめて機能が若さを保てる様に、改善する様にと心がけ努力するのはあたりまえ。

でも、生まれた時から様々な障害を持つてこの世に送り出された子供達、「這えば立て、立てば歩めの親心」このあたりまえのことが望むべくもない子供達が・・・・。

ある時のオルフェの会のビデオで紹介された村山の東京小児療育病院で両足の萎えて歩くことの不可能な幼児が病院スタッフの懸命な努力で両足で歩き始めた事実を拝見しました、感動しました!!胸打たれ涙が出ました。

スタッフの並々でない愛情のこもったリハビリ指導、そして本人の努力、両足で立つて一步でも歩めた時、どんなに感激したことでしょう。

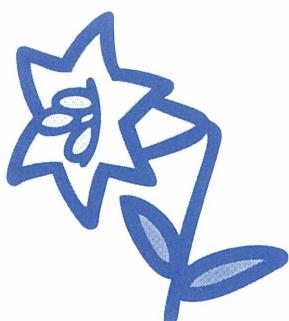
今年もお正月二日、三日、恒例の箱根駅伝マラソン大会がありました。その時の話です。たしか復路で走つた選手の一人が、自分は幼児期に水頭症という病気で頭から管をつけて、頭にたまつた水を出し続ける治療をしなければならず、母親は、医師から「この児は将来歩くことも出来ないでしょう」と言わされたそうです。その後どの様な事態が続いたかは、テレビ放送の短い時間では聞くことは出来ませんでしたが、でも今、本人はマラソンの選手として皆があこがれる箱根駅

伝で走るのです。そしてその選手はこのことを放送して皆に知って欲しい、そしてこのことが障害のある方達に少しでも力になれるのならと言つていると聞きました。将来歩けないと聞かされた時から母子のマラソンが始まつたのでしょうか。たとえ歩けなくても目標に向かつて希望を持つて努力を続けたのでしよう、素晴らしいことだと思います。

我が身をかえりみれば、實にご都合主義、或る時はまだまだ若いとうぬぼれたり、或る時はもうこの年齢なら、むづかしいことも、面倒なこともさけで通つて歩いて歩くことの不可能な幼児が病院スタッフの懸命な努力で両足で歩き始めた事実を拝見しました、感動しました!!胸打たれ涙が出ました。

でも先輩達が資金を集めて開設したこの鶴風会東京小児療育病院で日夜努力している方々を考えると、まだ残りの人生あるかぎり少しでも、この事業に協力の心を忘れてはならないと思います。

「優先席」にあたりまえと坐を占めるにはまだまだ未熟な私はです。



チャリティーコンサート ～オルフェの会～

とき 平成18年12月 2日(日)
開演時間 12:00
ところ 新高輪プリンスホテル
コンサート：ロシア歌曲の真実に出会う

チャリティーバザーのお知らせ

開催日 平成19年10月28日(日)
場所 東京小児療育病院院庭
武蔵村山市学園4-10-1
☎042-561-2521

御寄贈品を受け付けております。
ご協力ををお願いいたします。
皆様のお越しを心よりお待ちしております!!

鶴風会後援会へご寄付者ご芳名

平成十九年一月～平成十九年四月
183名（五十音順・敬称略）

相澤 昭・相沢ミツエ・相原智恵子	佐藤 忍・佐藤 中・佐藤 重雄
青木 悅・青木りう子・朝山 裕	佐藤 麗子・志鳥眞理子・島田 敏雄
阿曾須己子・阿部 雅章・安部 良治	島田由美子・清水 一輝・杉本 寛子
新井 京子・新井 恒子・荒木美枝子	高木 利明・高槻 義夫・高橋 千代
飯国紀一郎・弥生・飯国洋一郎	武居 正郎・竹下 こと・竹中希久夫
石井 正行・石見 亞矢・伊藤 萬子	炭山 嘉伸・炭山 朋子・泉水 昇
伊藤 元博・井上 康子・岩崎 直弥	鈴木 雅人・鈴木 秀明・鈴木 良三
上園 春海・上田 由紀・上野 洋子	田崎 雅子・多田 久人・田中 園子
鵜川美登里・馬嶌 順子・梅田 寛子	田中 リナ・谷 絹子・田原 久子
梅田みほ子・海野 俊雄・榎本みつ枝	田部 昭山・田部 秀山・田宮 親
大谷 宏明・大脇 照枝・緒方 月	塚越 実・月花 亮・鶴岡 康子
緒方 秀昭・岡野 兼大・小川 浩	遠山 美知・豊田 道子・長岡 純子
沖野 佳子・鬼頭 秀明・小原 明	中里 良・中里恵美子・中里 貞雄
小原 該・片岡 信代・勝田三枝子	中谷 尚登・中野 重徳・中野 敏枝
金森 勝士・鎌田 直子・亀井 麻子	長野 文子・仲村 健一・中村ちなみ
川上 武子・河村康明・裕子	並木 温・西井 華子・西崎 由紀
神田 明・北野千賀子・絹笠 誠也	西平 守夫・西宮 常代・二宮 文乃
木村 丹・木山 博夫・金親 正敏	根本 哲生・能谷 正雄・野口 道子
久保 初美・吳 政子・桑原 耕三	野中 杏栄・野村 武弘・野村 直子
向山 徳子・向山秀樹・和代	長谷川正子・長谷川幸子・発地瑠璃子
小菅 孝明・小竹原安見・後藤加寿美	馬場美智子・浜田 雅・早川 浩市
五島瑳智子・小林 信子・小林みゆき	林 馨・早瀬川 昌・早原 千鶴
小原 桂子・小針 照子・斎藤 英子	原田千鶴子・原田裕美子・原山 国秀
斎藤 則善・斎藤みどり・坂梨 ミチ	土方 淳・平岩扶美子・福田
先山 隆司・指田 和明・佐多 由紀	堀口 和江・前田 澄子・正村 栄子
	福田 美枝・藤井奈保子・藤田
	松原 龍弘・松本 章・松本 誓子
	丸山 和子・水落 笹子・水吉 秀男
	水野 憲子・水野 孝子・水上 淳子

佐藤 忍・佐藤 中・佐藤 重雄
佐藤 麗子・志鳥眞理子・島田 敏雄
島田由美子・清水 一輝・杉本 寛子
高木 利明・高槻 義夫・高橋 千代
鈴木 雅人・鈴木 秀明・鈴木 良三
炭山 嘉伸・炭山 朋子・泉水 昇
鈴木 雅人・鈴木 秀明・鈴木 良三
炭山 嘉伸・炭山 朋子・泉水 昇
島田由美子・清水 一輝・杉本 寛子
高木 利明・高槻 義夫・高橋 千代
武居 正郎・竹下 こと・竹中希久夫
田崎 雅子・多田 久人・田中 園子
田中 リナ・谷 絹子・田原 久子
田部 昭山・田部 秀山・田宮 親
塚越 実・月花 亮・鶴岡 康子
遠山 美知・豊田 道子・長岡 純子
中里 良・中里恵美子・中里 貞雄
中谷 尚登・中野 重徳・中野 敏枝
長野 文子・仲村 健一・中村ちなみ
並木 温・西井 華子・西崎 由紀
西平 守夫・西宮 常代・二宮 文乃
根本 哲生・能谷 正雄・野口 道子
野中 杏栄・野村 武弘・野村 直子
長谷川正子・長谷川幸子・発地瑠璃子
馬場美智子・浜田 雅・早川 浩市
林 馨・早瀬川 昌・早原 千鶴
原田千鶴子・原田裕美子・原山 国秀
土方 淳・平岩扶美子・福田

三宅 三・宮崎 和・宮崎 元伸
宮本 みち・向井 治文・宗 恒雄
村川世津子・森 克彦・森 千恵子
森 勉・紘子・盛川 温子

諸富 杏子・矢高レイ子・矢野ともね
矢野 春雄・山口 之利・山下 香澄
山田三枝子・山出 孝子・山中みよ子
山村 憲・山本みどり・吉田 ミエ

吉見 梓
山田 三枝子・山出 孝子・山中みよ子
山村 憲・山本みどり・吉田 ミエ
森 勉・紘子・盛川 温子

社会福祉法人鶴風会へご寄付者
ご芳名（法人・団体・個人）

平成十九年一月～平成十九年四月
21名（五十音順・敬称略）

父母の会後援会・安藤建設㈱

父母後援会・我妻 博之・秋元美知子

石川マツ子・板垣 祝夫・岡 伸行

上岡 謙夫・清水 宏・鈴木 康之

拓洋物産㈱・鶴岡 景子・西原 憲二

舟橋満寿子・前田 稔・松尾 賢二

松本 誓子・山田美智子・山谷 敏男

吉永 勇男

編集後記

桜が散り始めたころ原稿依頼をし、
薔薇から紫陽花に季節が変わり、そして今櫻の緑が一層濃くなりました。「か
くふう」から「はぐくむ」になつて十五号。これからも皆さんの原稿をお願
いします。



梅雨のあじさい
栗村 幸一